

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道メーター等入札・管理事業		
根拠法令等	蒲郡市契約規則	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水 資 源
-----------------	-------

②事務事業の内容

対象（受益者）	水道メーター及びたな卸資産に関して
手 段	適正な入札執行による安価な購入、経理処理及び在庫管理を行い
想定する成果	水道メーター及びたな卸資産の適正な処理を行う。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
20ℓ量水器購入数	400	300	300
20ℓ量水器購入費	1,066,800	749,700	592,200
営業費用	1,659,072,677	1,611,319,796	1,663,677,000

④成果指標

①

②

成果指標名	20ℓ量水器の購入単価	営業費用に対する量水器購入費の割合
成果指標の説明	量水器購入費／量水器購入数	量水器購入費／営業費用

⑤事業の進捗状況

（ 水道事業会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	1,974
	実績	2,667	2,499	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.036%
	実績	0.064%	0.047%	—
事業費	事業費	14	13	14
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,667	1,636	1,685
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,667	1,636	1,685

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	5 社～7 社の量水器関係指名業者により入札を実施している。
経済効率性	2	2	適切な入札価格が保持されている。
事務効率性	2	2	量水器の購入数を的確に把握し、年 1 回の単価入札をすることにより、費用の減少を目指している。
必 要 性	3	3	市が実施すべき事業である。
小 計	9 ／12 満点中	9 ／12 満点中	
市民参加度	—	—	市民参加はなされていない。
合 計	9 ／15 満点中	9 ／15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3 点までの 4 段階評価

総合評価	B	B	量水器は、計量法で 8 年ごとの取り替えが義務付けられている。年間の取り替え数量は、約 3,700 個に及ぶことから、適切な経理・在庫管理を行い、単価入札により費用の減少に努力をしている。
------	---	---	--

※総合評価は、A～D までの 4 段階評価

⑦これまでに実施した改善点

年間の必要数量を的確に検討・把握し、年 1 回の入札を行うことにより、入札費用の減少に努力した。

⑧今後改善すべき点

単価入札に当っては、他市町の量水器単価に係るできる限りの最新情報を得るよう努力したい。

⑨平成 17 年度予算に反映する項目

他市町の入札状況を調査・把握し、適切な予算見積額を計上したい。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道会計経理事業				
根拠法令等	地方公営企業法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水 資 源
-----------------	-------

②事務事業の内容

対象（受益者）	公営企業である水道事業の会計経理を
手 段	企業会計システムを使用し、迅速かつ正確な事務処理を行うことにより
想定する成果	適正で安定的な企業運営に資する。

③事業の概要

単位：円

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
システム保守委託料	826,350	390,600	195,300
システム賃借料	2,739,240	2,421,720	2,622,000
営業諸経費	202,500	179,000	193,800

④成果指標

①

②

成果指標名	事務的経費に占めるシステム経費割合	営業費用に占めるシステム経費割合
成果指標の説明	システム運用経費／事務経費×100	システム運用経費／営業費用総額×100

⑤事業の進捗状況

（水道事業会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	6.80%
	実績	4.84%	5.67%	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.18%
	実績	0.23%	0.19%	—
事業費	事業費	3,768	2,991	3,011
	人件費	22,723	22,322	22,971
	(人数)	2.75	2.75	2.75
	合計	26,491	25,313	25,982
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	26,491	25,313	25,982

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	システムが老朽化しているが、ほぼ目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	現在のシステムは、旧型ではあるが、ほぼ見合った成果を上げている。
事務効率性	2	2	現在のシステムに見合った効率性を上げている。
必 要 性	3	3	独立会計であるので、費用効果、事務処理の迅速性、操作の簡易性など、適切な運用が必要である。
小 計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	市民参加はなされていない。
合 計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	水道事業における会計システムは必要不可欠なものであり、現時点ではほぼ目的を達成しているが、老朽化によるトラブル解消のため、システムの更新を図らなければならない。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

水道事業会計システムは、平成9年度から7年の間更新されず、必要なグレードアップをその都度実施し、トラブルに対処してきたが、電算機器は日々急速な進歩をしている中、16年度からは新システムを導入して、迅速かつ効率的な事務処理を行う。

⑧今後改善すべき点

新システムの導入により、操作性、処理速度等の向上を図る。（平成16年10月に更新予定）

⑨平成17年度予算に反映する項目

新システム導入後の諸経費を計上したい。

⑩組織、人員に関する提言

水道事業会計は、一般会計と異なり、公営企業による企業会計を導入しているので、この方面の経理能力のある人材の配置を求めたい。また、投資効果、経済的効果についても理解力のあることが必要と思われる。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	広報活動推進事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水 資 源
-----------------	-------

②事務事業の内容

対象（受益者）	市内に在住する水道使用者に対し
手 段	広報がまごおり、蒲郡の水ホームページ等を通じて節水の周知・実施、水道事業に関する情報提供により
想定する成果	限られた水資源を大切にし、日頃における節水意識の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
広報がまごおり	年5回6ページ	年5回6ページ	年5回6ページ
水源地見学	年1回保育園父母の会36名	年1回保育園父母の会36名	年1回保育園父母の会36名
そ の 他	車両用啓発幕 8枚、ホームページの掲載		

④成果指標

①

②

成果指標名	家事用1人1日当たりの給水量($\frac{\text{リットル}}{\text{人}}$)	家事用1給水栓における給水量(m3)
成果指標の説明	家事用給水量／給水人口÷365	家事用給水量／家事用給水栓

⑤事業の進捗状況

(水道事業会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標	計画	—	—	220.6 $\frac{\text{リットル}}{\text{人}}$
	実績	221.3 $\frac{\text{リットル}}{\text{人}}$	220.7 $\frac{\text{リットル}}{\text{人}}$	—
成果指標	計画	—	—	485.4m3
	実績	495.0m3	485.4m3	—
事業費	事業費	14	13	14
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,667	1,636	1,685
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,667	1,636	1,685

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	事業成果が分かり難いが、家庭における使用水量に節水の実践が見られる。
経済効率性	3	3	低コストの事業であり、費用対効果は十分に出ている。
事務効率性	2	2	広報及びホームページ等により、効率的な周知活動をしている。
必 要 性	3	3	情報提供、水道事業の理解を得るうえでは、絶対に必要な事業である。
小 計	10 ／12 満点中	10 ／12 満点中	
市民参加度	—	—	市民参加はなされていない。
合 計	10 ／15 満点中	10 ／15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	広報活動においては、色々な方法や工夫をすることで、更により良い成果を上げることができる。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

ホームページの内容、広報の紙面を理解しやすいものにした。

⑧今後改善すべき点

節水だけでなく、水資源の重要性を理解してもらう努力をする。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	受託工事契約事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水 資 源
-----------------	-------

②事務事業の内容

対象（受益者）	愛知県東三河水道事務所及び建設事務所等に対して
手 段	配水管布設替工事等を受託契約し、市単独工事と同様の施工方法により
想定する成果	水道建設事業の統一的及び一体的な管理を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
受託工事請負件数	8 件	4 件	3 件
受託工事請負費	14,337,750	20,811,000	24,400,000
受託工事収益	15,321,750	22,097,898	26,108,000

④成果指標

①

②

成果指標名	1 件当りの受託工事請負費	受託工事費に対する受託工事収益の割合
成果指標の説明	受託工事請負費／受託工事件数	受託工事収益／受託工事費×100

⑤事業の進捗状況

（ 水道事業会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	8,702,667
	実績	1,792,219	5,202,750	—
成果指標 ②	計画	—	—	107.00%
	実績	106.86%	106.18%	—
事業費	事業費	14	13	14
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,666	1,636	1,685
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,666	1,636	1,685

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	概ね計画どおり実施できた。
経済効率性	3	3	県との調整により、市費の負担を削減する。
事務効率性	3	3	入札行為は、契約検査課に依頼している。
必 要 性	3	3	県等関連工事に伴い発生する工事であり、市が実施するものである。
小 計	11 ／12 満点中	11 ／12 満点中	
市民参加度	—	—	市民参加はなされていない。
合 計	11 ／15 満点中	11 ／15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	県等関連工事の受託契約については、市が受託して施工する費用をすべて相手方負担とし、市が施工する工事と同様に実施できる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

受託費の設計金額について、より一層の精査をしている。

⑧今後改善すべき点

現在は受託工事の内容変更などにより、事務費が流動的になっている。工事内容の変更により、事務費の額も変更してもらえよう県等をお願いをする。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

適切な受託工事費を計上したい。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2206
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道料金等調定事業				
根拠法令等	蒲郡市水道事業給水条例	A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水 資 源
-----------------	-------

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び市内在住の上水道受水者に
手 段	毎月定められた期日までに水道料金等を調定し、納入通知書を送付することにより
想定する成果	水道料金等として、公営企業における営業収益を確保する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
水道料金調定額	1,808,790,917	1,790,978,496	1,823,028,480
水道料金調定件数	175,804	178,320	181,500
営業費用	1,659,072,677	1,611,319,796	1,663,677,000

④成果指標

①

②

成果指標名	調定1件当りに対する営業費用	営業費用に対する水道料金調定額の割合
成果指標の説明	営業費用／調定件数	水道料金調定額／営業費用×100

⑤事業の進捗状況

（水道事業会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	10,044円
	実績	9,437円	9,036円	—
成果指標 ②	計画	—	—	109.58%
	実績	109.02%	111.15%	—
事業費	事業費	259	251	266
	人件費	5,784	5,681	5,847
	(人数)	0.7	0.7	0.7
	合計	6,043	5,932	6,113
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,043	5,932	6,113

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	毎月定められた期日までに公平な水道料金を調定することができた。
経済効率性	2	2	民間的経営手法の検討も必要である。
事務効率性	3	3	外部委託も検討し業務の効率化を図ることも必要である。
必 要 性	3	1	公平な水道料金を調定することで安定した水道事業が運営される。
小 計	11 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	市民参加はなされていない。
合 計	11 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	水道料金調定システムにより、水道料金等を正確かつ迅速に、定められた期日までに調定し、公営企業として健全な水道事業が運営され、市民生活に必要な水を安定供給することができる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

水道事業を健全に経営するため、13年度に水道料金を約17%引き上げる料金改定を実施した。

⑧今後改善すべき点

安定した水道事業の効率化を図るためにも民間事業者の委託検討も必要である。

⑨平成17年度予算に反映する項目

愛知県と協定している基準配水量による受水費を計上する。

⑩組織、人員に関する提言

水道料金調定システムは、毎月15,000件程度の調定決議をすることから、パソコンについてはある程度能力を有する人材を起用して欲しい。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道メーター等検針事業		
根拠法令等	蒲郡市水道事業給水条例	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水 資 源
-----------------	-------

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び市内在住の上水道受水者に
手 段	給水地区を偶数月と奇数月地区に分けて、検針業務委託員によるメーター検針を行ない、当該期間中の使用水量を認定し
想定する成果	定められた期日までに水道料金等に係るデーターを作成する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
検針委託金額	12,497,582	12,844,501	12,685,046
検針箇所数	175,970	180,805	178,600
営業費用	1,659,072,677	1,611,319,796	1,663,677,000

④成果指標

①

②

成果指標名	1件当りの検針委託料単価	営業費用に対する検針委託料の割合
成果指標の説明	検針委託金額／検針件数	検針委託金額／営業費用×100

⑤事業の進捗状況

（水道事業会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	71.02
	実績	71.02	71.04	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.76%
	実績	0.75%	0.80%	—
事業費	事業費	12,757	13,096	12,951
	人件費	6,610	6,493	6,682
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	19,367	19,589	19,633
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	19,367	19,589	19,633

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	検針により受水者の使用水量を正確に把握し、公平な水道料金等を調定している。
経済効率性	2	2	検針業務は現在私人委託としているが、経費節減となるなら業者委託も検討することが必要である。
事務効率性	3	3	私人委託により、長期的に検針業務をしていることから、検針箇所を十分把握し、効率的な検針が実施されている。
必 要 性	3	1	正確かつ迅速な水道料金等を調定するうえで絶対に必要である。
小 計	11 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	11 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	検針業務を市内に在住する者に私人委託することで、定められた期日までに正確で迅速な水道料金等を調定することができ、公営企業としての水道事業が健全に運営することができる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

検針業務委託料単価は、近隣市町の状況を調査・把握し、平成13年度以降は据置きとしている。
--

⑧今後改善すべき点

現在、検針業務は9名の検針員に私人委託しているが、この中には高齢の方が数人いるため今後は、業務の効率化及び安定化を図るためにも民間事業者への委託検討も必要である。

⑨平成17年度予算に反映する項目

適切な検針委託料を計上したい。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載